

2019年、ストレート卒業率私立大1位 東京女子医科大学

教育 2021年10月8日（金） 三宅幸一郎



医師を目指すご家庭において、医学部選びは大きな問題です。そこで来場型、オンライン型とさまざまに開催される2021年の医学部オープンキャンパス情報をまとめて発信していきます。今回は東京女子医科大学の後編。女子医大ならではのカリキュラムや学生サポートについて、医学部長の石黒直子教授に伺いました。

女性医師のキャリア形成を手助けするカリキュラム

—— 貴学医学部の学風、特徴的なカリキュラムについて教えてください。

本学は、「至誠と愛：きわめて誠実であることと慈しむ心(愛)」の理念に基づき、精神的・経済的に自立し社会に貢献する女性医師を多く輩出してきました。学生が全員女性である上に、教職員も他大学より女性が多く、現在は女性教授が3割を占め、女性が学修しやすい環境であると感じます。女性が働きやすい環境づくりを目指す機運を高め、世代を超えて維持、継承しようとしていると感じます。

具体的には、「至誠と愛」の実践学修を1～4年生まで段階的に継続して修得すべき縦断科目として設置し、医師としての人間性を醸成するカリキュラムとして取り入れています。このカリキュラムでは女性医師のロールモデル実習も行い、様々な立場で医師としての人生を歩まれている先輩

医師の講義を行い、働き方の多様性について眼を開き、将来に対する視野を広げることに取り組んでいます。

——「女性医師のロールモデル実習」は貴学ならではのものだと思います。具体的に教えてください。

SDGsの目標にジェンダーフリーや多様性の実現が掲げられ、国の「働き方改革」などにより、「女性が働き続けること」への障壁は下がってきてはいます。しかし、男性医師は働くことを中断することに直面する機会は、人生のうちでありえないかと思いますが、女性医師はキャリアを形成するなかで、結婚・出産を筆頭にその壁が立ちふさがることが、まだまだ出てきます。そういった社会の中で、全国各地の医療施設で活躍している先輩たちに接して自分の将来をより具体的にイメージすることができる機会が、「女性医師のロールモデル実習」です。

3年生を対象に、毎年夏季休暇中に実施しており、学生たちは実習を希望する医療施設に対し、自らアプローチして受け入れの依頼を行います。帰省先で地域医療に従事している先輩女性医師に依頼する学生も多く、患者さんとの接し方や対話、診療の様子などの見学を通して、医師の役割やプロフェッショナリズムについての“気づき”を得るとともに、女性医師のライフサイクルを理解して将来のキャリア開発に役立てることをめざしています。

例えばクリニック院長と結婚され、3人のお子さんを育てながら、地域医療にまい進される先生や、定時勤務で子どもができてもしっかりと仕事を続けられる環境が整った医療施設で働き2人目の出産を控える勤務医の先生など実習先は多岐に渡っており、学生には実習を通して、仕事と家庭が両立できることを確認してもらいます。

多岐に渡る女性医師の理想的なキャリア形成を目指す本学の姿勢にご賛同いただき卒業生は増えてきており、親子2代にわたって実習先を引き受けていただく方もいらっしゃいます。



手厚い支援で国試対策や学生生活をサポート

——では、学生生活や国試対策などのサポート体制についておしえてください。

学生委員会が学生の福利厚生や円滑な運営と学生生活の支援を行っています。従来は、その学年に在籍する学生の置かれる事情を熟知した学年担任を中心として支援をおこなっていました。しかし、COVID-19感染症拡大のため、遠隔授業も増加し、教員や学生間でのコミュニケーションや情報共有が十分にできず、様々な困難に直面している学生が以前より増加しています。

大学生活をさらに実りあるものとするために、下部委員として学生支援委員(メンター)を全学年に設置しました。経験豊富な教員である支援委員が4～5名の学生を担当し、定期的に面談や学生の生活面や学修面全般についての必要な支援を行っています。メンタルケアなど体調面については学生健康管理室が、専門的なアプローチやカウンセリングを適切にセッティングしています。

国試対策の支援として国家試験対策委員会を設置し、5,6年生を対象に、過去問に準じた試験を行っています。成績下位の学生に対して、個別面談・指導および、父母会の協力により集中講座を開催しています。

このような、国試対策を含むさまざまな教育の取り組みや学生サポートにより、本学は私立医学部の中でストレート卒業率が例年高く、2019年度では入学者112名中の卒業生数は107名(95.5%)と全国1位であった点は特筆すべき点だと思います。

——最後に親御さん受験生にメッセージを。

本学の教職員は入学された女子学生の皆さまが、学生から初期研修医を経て、後期研修医、専門医や研究者、将来は開業医・勤務医・行政などさまざまな立場の医師の姿を目指して、たゆまず進んでいけるように、最大限のサポートを行い、皆さまが女性医師として輝き続けることができるようにさらなる体制の構築に努めていきます。ぜひ、東京女子医科大学で自分の道を見つけていただければと思っております。

いかがでしたか、90年代から国際化やテュートリアル教育を実践し、女性医師が今まで以上に活躍できる環境に取り組む東京女子医科大学の姿勢が伝わったでしょうか。「女性医師のロールモデル実習」などの詳しい模様は公式サイト[☑](#)に掲載されていますのでぜひ御覧ください。

(文/三宅幸一郎 女性医師のロールモデル実習:画像/東京女子医大HP)